

グループ・団体名	沖縄福祉教育研究会		代表者名	比嘉 信子																																							
所在地 TEL&FAX	〒 901-2104 浦添市字当山 321 TEL:098- 878-2270		担当者 及び連絡先	比嘉 信子																																							
グループ・団体の概要	<p>結成(設立): 2000年4月 会員数: 8名 主な活動内容 障害者による社会貢献及び福祉のまちづくりに貢献することを目的に、小中高校や地域公民館、企業等からの依頼によって福祉講話及び車椅子やアイマスク体験等を実施している。また、地域社会福祉協議会の呼び掛けに応じてこれらを協働で実施している。依頼先の要望に応じて福祉講話や疑似体験を実施しているが、必要に応じて障害者スポーツ団体などの協力を得ながら、ふれあいを主体とした交流を行う機会が増えてきた。</p> <p>これまで実施した主な内容 『障害者による福祉講話(自己の体験談やバリアフリー講座やまちづくりへの提言等)車椅子・アイマスク体験、更に障害者介助の講習会等へ講師派遣』 『障害者スポ</p>		<p>ーツ体験を通じた障害者とのふれあい・交流* 『障害者による福祉教育の実践』に関する報告書の作成</p> <p>200年度の予算</p> <table border="1"> <tr> <td>収入</td> <td>前期繰越金</td> <td>645</td> </tr> <tr> <td></td> <td>会費</td> <td>35.000</td> </tr> <tr> <td></td> <td>賛助会費</td> <td>10.000</td> </tr> <tr> <td></td> <td>活動収益</td> <td>170.000</td> </tr> <tr> <td></td> <td>合計</td> <td>215.645</td> </tr> <tr> <td>支出</td> <td>会議費</td> <td>8.000</td> </tr> <tr> <td></td> <td>通信費</td> <td>21.000</td> </tr> <tr> <td></td> <td>交通費</td> <td>50.000</td> </tr> <tr> <td></td> <td>消耗品費</td> <td>5.000</td> </tr> <tr> <td></td> <td>事務経費</td> <td>97.000</td> </tr> <tr> <td></td> <td>保険料</td> <td>5.336</td> </tr> <tr> <td></td> <td>雑費</td> <td>10.500</td> </tr> <tr> <td></td> <td>合計</td> <td>215.645</td> </tr> </table>		収入	前期繰越金	645		会費	35.000		賛助会費	10.000		活動収益	170.000		合計	215.645	支出	会議費	8.000		通信費	21.000		交通費	50.000		消耗品費	5.000		事務経費	97.000		保険料	5.336		雑費	10.500		合計	215.645
収入	前期繰越金	645																																									
	会費	35.000																																									
	賛助会費	10.000																																									
	活動収益	170.000																																									
	合計	215.645																																									
支出	会議費	8.000																																									
	通信費	21.000																																									
	交通費	50.000																																									
	消耗品費	5.000																																									
	事務経費	97.000																																									
	保険料	5.336																																									
	雑費	10.500																																									
	合計	215.645																																									

プロジェクト名 地域のバリアフリーチェック

プロジェクト概要

- <目的>** 障害者だけでなく全ての人にとって地域のバリアフリー化が必要であることを知る。物のバリアフリーと心のバリアフリーを理解する機会としたい。地域のバリアフリーの状況が、障害者の社会参加を左右することを知る。
- <内容>** 地域の障害者と一緒に学校区内で車椅子・アイマスク体験あるいは障害者のお手伝い等を行う。車椅子の介助や視覚障害者の誘導方法の基本を学ぶ。学校周辺及び住みよい地域について、或いはバリアフリーの必要性等に気づいてもらう
- <実施の方法>** 地域で暮らすお年寄りや障害者と学校生徒と一緒に、学校周辺など地域を散策しながら地域の道路や歩道の段差、商店、銀行、郵便局等のバリアフリー状況をチェックする。生徒が多くの障害者ど行動を共にし、障害を理解できるようにするため、参加する障害者は視覚障害や肢体不自由者、聴覚障害者等、障害の種類を越えて参加できるようにする。実際の地域散策を通じたふれあい体験であるため、実施に当たってはクラス単位が望ましい。実際に体験する前に、事前に車椅子の介助や扱い方、視覚障害者の誘導の仕方、及び障害種類の基本的知識に関する事前学習を学校などで実施する。併せて、この体験学習の目的を周知する。参

加する生徒にも実際に車椅子及びアイマスク体験などをさせる。

実施により期待できる効果

バリアフリー(物理的配慮・人的支援方法等)に対する知識を深めることができる。障害者の外出機会を実際に体験することで、地域で暮らす障害者の現状の一端を知り、自分たちの住む身近な環境について考える力を培うことができる。施設内や行事の時だけでなく、日常的に障害者や高齢者のお手伝いができるようになる。地域散策体験といふ障害者・高齢者との交流やバリアフリーチェックを通して、楽しみや問題点が共有でき、相手の立場になって物事を考える力を培うことが可能になる。

プロジェクト実施におけるタイムスケジュール(案)

- 調整(日程及び人数)
 1ヶ月ないし2ヶ月前までに日程や実施内容及び参加人数、具体的な実施場所などの調整をする。その後、体験用車椅子やアイマスク等の確保や講師選定、散策コースの選定等を行う
- 事前学習必要の有無
 有(車椅子の介助、視覚障害者の誘導の仕方、車椅子の扱い方、参加する障害者の障害に対する基本的な知識、注意事項の確認、目的の周知徹底)
- 実施後のフォロー : 当日参加した障害者講師を交えた反省会 総合的学習の時間などを活用してを開き、当初の目的が達成できたかどうか意見交換を行う

1回あたりの対応可能人数・時間及び必要経費

5名～10名	約120分	約13,000円	講師料 1名 × 10,000= 10,000円
10名～20名	約150分	約25,000円	講師料 2名 × 10,000= 20,000円
20名～30名	約150分	約40,000円	講師料 3名 × 10,000= 30,000円

実施後のフォロー : 当日参加した障害者講師を交えた反省会 総合的学習の時間などを活用してを開き、当初の目的が達成できたかどうか意見交換を行う

参加する障害者 : 障害者の参加人数は、生徒の数又は予算に応じて増減できる。基本的には、実施する学校と相談のうえ決定する。事前学習又はフォローに関わる障害者は1名ないし2名とする。

交通費は別途頂きます。